

令和4年度

全国学力・学習状況調査報告書

令和4年11月

当別町教育委員会

目 次

I 調査について	1
II 小学校（義務教育学校前期課程）の分析	2
1) 学力調査	
2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）	
III 中学校（義務教育学校後期課程）の分析	10
1) 学力調査	
2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）	
IV 当別町学力向上プラン	20

I 調査について

1 目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 対象学年

- (1) 小学校（義務教育学校）第6学年
- (2) 中学校第3学年（義務教育学校第9学年）

3 内容

(1) 教科に関する調査

対象教科	国語、算数・数学、理科
出題範囲	原則として、調査する前年の前学年までに含まれる指導事項
出題内容	①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識、技能 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 調査問題では、①と②を一体的に問う
出題形式	記述式の問題を一定割合で導入

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校に対する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 期日

令和4年4月19日（火）

※一部の中学校は、上記の期日に実施できず、5月9日（月）に後日実施した。

5 実施した学校及び児童生徒数

	対象学校数	対象児童生徒数	参加児童生徒数	参加率
小学校 (義務教育学校 前期課程を含む)	2校	79人	59人	74.7%
中学校 (義務教育学校 後期課程を含む)	2校	89人	77人	86.5%
合計	4校	168人	136人	81.0%

※参加児童生徒数は、対象となる児童生徒数のうち、当日体調不良等により参加できなかった児童生徒を除いた人数。

※中学校は5月9日に実施した人数を含む。

II 小学校の分析

1) 学力調査

1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

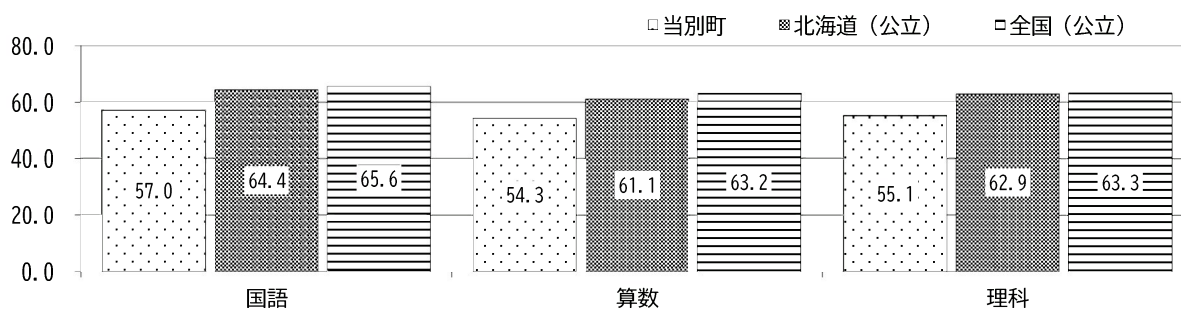
	国語		算数		理科	
	平均正答率 (%)	平均正答数/問題数	平均正答率 (%)	平均正答数/問題数	平均正答率 (%)	平均正答数/問題数
当別町	57.0	(8.0/14)	54.3	(8.7/16)	55.1	(9.4/17)
北海道(公立)	64.4	(9.0/14)	61.1	(9.8/16)	62.9	(10.7/17)
全国(公立)	65.6	(9.2/14)	63.2	(10.1/16)	63.3	(10.8/17)
全国との差	▲ 8.6	(▲1.2/14)	▲ 8.9	(▲1.4/16)	▲ 8.2	(▲1.4/17)

※平均正答率は、国から提供されたデータをもとに、町教委が独自に算出した小数値を記載。

※平均正答数は、国から提供されたデータによる。

※()内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。

※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語、算数ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。



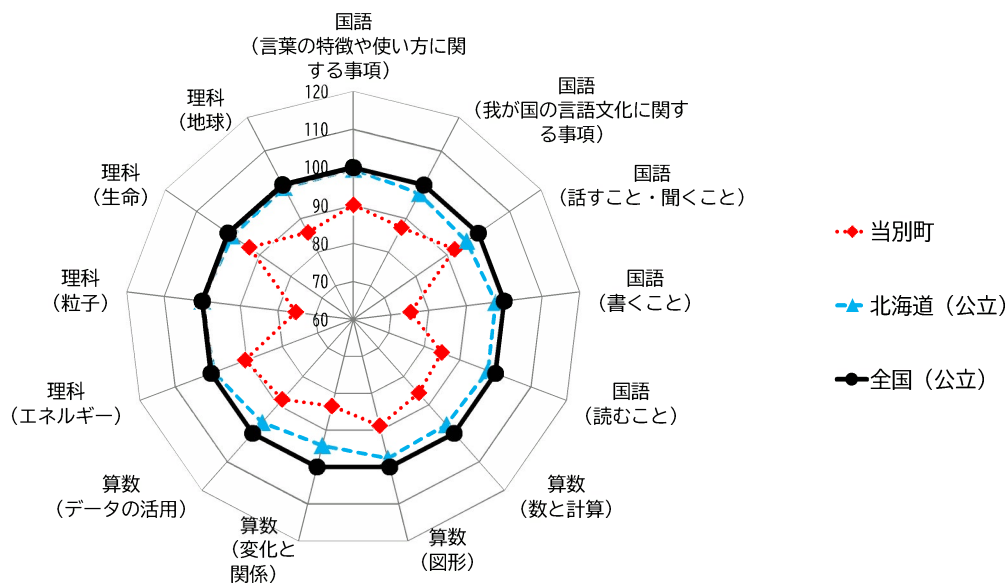
2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

	国語 (言葉の特徴や使い方に 関する事項)	国語 (我が国の言語文化に 関する事項)	国語 (話すこと・聞く こと)	国語 (書くこと)	国語 (読むこと)	算数 (数と計算)	算数 (図形)	算数 (変化と 関係)	算数 (データの 活用)	理科 (エネルギー)	理科 (粒子)	理科 (生命)	理科 (地球)
問題数	5/14	1/14	2/14	2/14	4/14	6/16	4/16	4/16	3/16	4/17	5/17	5/17	5/17
当別町	89.9	87.0	92.1	75.1	84.7	85.8	88.8	83.4	88.1	90.3	75.2	93.1	85.6
北海道(公立)	99.6	97.4	96.2	97.7	97.9	97.0	97.7	94.2	96.2	99.2	100.0	98.8	99.2
全国(公立)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したものを。

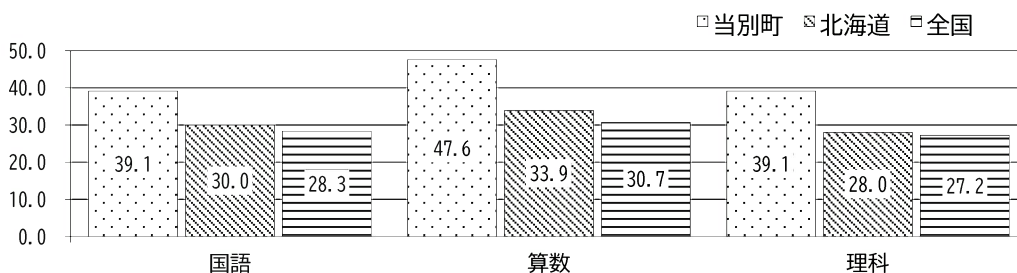
※(当別町児童の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

※1つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数と一致しない。

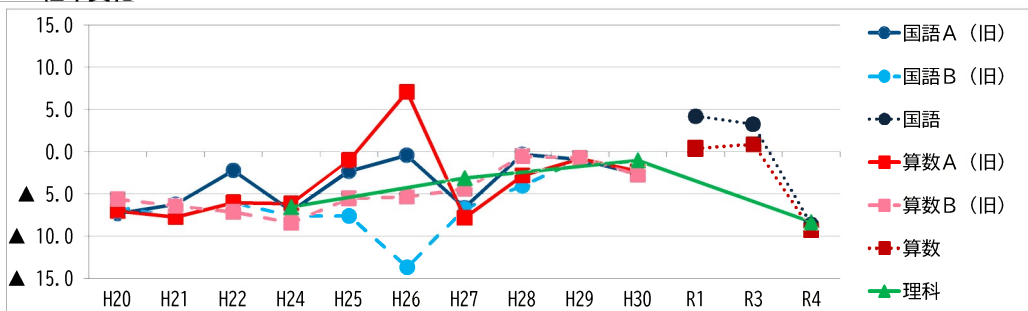


3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合	国語			算数			理科		
	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国
	39.1%	30.0%	28.3%	47.6%	33.9%	30.7%	39.1%	28.0%	27.2%
全国との差	14問中7問以下		16問中8問以下		16問中8問以下				
	+	10.8	多い	+	16.9	多い	+	11.9	多い



4 経年変化



※全国の平均正答率との差を表示。
 ※理科は3年ごとに実施。
 ※平成23年度・令和2年度は中止。

5 教科ごとの結果概要

【国語】

- ① 全国の平均正答率を8.6ポイント下回った。
- ② 領域ごとの正答率は、全ての分野で全国を下回っており、特に「書くこと」の分野に課題がある。
- ③ 下位層の割合は、全国より10.8ポイント多く、学力の底上げが課題となっている。

【算数】

- ① 全国の平均正答率を8.9ポイント下回った。
- ② 領域ごとの正答率は、全ての分野で全国を下回っている。
- ③ 下位層の割合は、全国より16.9ポイント多く、学力の底上げが課題となっている。

【理科】

- ① 全国の平均正答率を8.2ポイント下回った。
- ② 領域ごとの正答率は、全ての分野で全国を下回っており、特に「粒子」の分野に課題がある。
- ③ 下位層の割合は、全国より11.9ポイント多く、学力の底上げが課題となっている。

6 改善策

(1) 町としての学力向上策

- ① 授業改革への支援（加配教員・町費負担教員の有効活用、ICT機器の活用推進、家庭学習の充実～学びのハンドブックの活用～）
- ② 教職員の資質向上への支援（指導主事による指導助言、教職員研修の充実）
- ③ 授業外の学習支援（AIドリルの活用などによる長期休業中の学習支援、読書環境の整備・充実）
- ④ 学校改善プランの実践支援（「課題探求型授業」の積極的な推進、教職員協働による学習指導・生徒指導の充実、「学びのハンドブック」の活用推進、小中一貫教育のメリットを生かした9年間の学びの連続性）

(2) 各教科ごとの改善策

【国語】

- ① 児童質問紙で、「国語の授業は好き」と回答した児童の割合が、全国よりも低いことから、授業改善を進める。
- ② 「書くこと」の領域が、全国より低いことから、日常の授業から振り返りを書かせるなど、書くことに慣れる指導の流れを構築する。
- ③ 授業改善や学習規律の徹底など、地道に基礎基本を徹底することを教職員で共通理解し、実践を進める。

【算数】

- ① 児童質問紙で、「諦めずにいろいろな方法を考える」「もっと簡単な方法がないか考える」と回答した児童の割合が全国より低いことから、自ら問いを持ち、他者と共有・共感し、よりよく問題解決を図る視点に立った授業改善をより一層進め
- ② 授業で身につけた学びが、生活の中で生きて働く力の習得へとつながるように、課題探求型の授業の実践に向けた授業改善を進める。

【理科】

- ① 児童質問紙で、「理科の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国より低いことから、授業改善を進める。
- ② 授業で身につけた学びが、生活の中で生きて働く力の習得へとつながるように、課題探求型の授業の実践に向けた授業改善を進める。

【授業全般】

- ① 全教職員に「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解させ、日々の授業等について、教育課程全体の中での位置づけを意識させる。
- ② 小学校と中学校で研究テーマを統一し、9年間で育てる児童・生徒の資質・能力の共有化が進んできた。全国学力・学習状況調査の結果分析から課題を明確にして、それを学校改善プランに反映し、実践する。
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、自ら学び、自ら考える「課題探求型の授業」を積極的に進める。

2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

※全国平均と比較して2ポイント以上の差がある項目を抜粋しています。

【国語の学習について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
国語の勉強は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	52.6	59.2	-6.6
国語の授業の内容はよくわかりますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	78.0	84.0	-6.0

特徴的な傾向

- ①「国語が好きですか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」に「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より6ポイント低い傾向にあることから、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を一層進めていく必要がある。

【算数の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
算数の勉強は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	69.5	62.5	+7.0
算数の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	96.6	94.2	+2.4
算数の授業の内容はよくわかりますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	86.5	81.2	+5.3

全国と比べ改善が必要な項目

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	62.7	69.3	-6.6
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	78.0	80.4	-2.4
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	72.9	76.8	-3.9

特徴的な傾向

- ①「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より高い傾向にあることから、教員の地道な授業改善の成果が出ていると考えられる。
- ②「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より6.6ポイント低い。習得した知識を普段の生活で活かす力として児童に身につけさせる必要がある。

【理科の学習について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
理科の勉強は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	74.6	79.7	-5.1
理科の授業の内容はよくわかりますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	84.7	88.5	-3.8
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	62.7	67.9	-5.2
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	72.9	77.2	-4.3
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	22.1	26.6	-4.5
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	74.6	78.0	-3.4
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	81.4	84.9	-3.5
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	66.1	72.2	-6.1

特徴的な傾向

- ① 「理科の勉強は好きですか」「理科の授業の内容はよくわかりますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より低い傾向にあることから、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を一層進めていく必要がある。
- ② 「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より 6.1 ポイント低い傾向にあることから、「振り返り」を一層進めていく必要がある。

【家庭学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらい の時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に 教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） （「1時間以上」と回答した割合の合計）	62.8	59.4	+3.4

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時 間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっ ている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） （「2時間以上」と回答した割合の合計）	17.0	26.2	-9.2

特徴的な傾向

- ①「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」で「2時間以上」と回答した児童の割合が、全国平均より9.2ポイント低い傾向にあることから、学校が休みの日の学習を増やすような取り組みが必要である。

【基本的な生活習慣について】

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
朝食を毎日食べていますか （「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計）	84.8	94.4	-9.6
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか （「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計）	74.6	81.5	-6.9
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人 と約束したことを守っていますか （「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した割合の合計）	59.3	71.5	-12.2
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲ ーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフ ォンを使ったゲームを含む）をしますか （「1時間以上」と回答した割合の合計）	91.5	76.1	+15.4
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話 やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか （「1時間以上」と回答した割合の合計）	57.7	50.6	+7.1

特徴的な傾向

- ① 「朝食を毎日食べていますか」で「毎日食べている」と回答した児童の割合が、全国平均より 9.6 ポイント低い傾向にあることから、朝食を毎日食べるように生活習慣を整えることが必要である。
- ② 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」で「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した児童の割合が、全国平均より 12.2 ポイント低い傾向にあることから、家族間のルールの徹底が必要である。
- ③ 「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか」で「1時間以上」と回答した児童の割合が、全国平均より 15.4 ポイント高い傾向にあることから、家族間のルールの見直しや徹底が必要である。

【指導に関わる項目について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	66.1	58.2	+7.9
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	25.5	21.7	+3.8
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	79.7	77.3	+2.4
5年生までに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	74.5	72.2	+2.3
5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文などの新しいものを創り出す活動を行っていましたか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	71.2	68.4	+2.8
5年生までに受けた授業は、自分に合った考え方や教材、学習時間などになっていましたか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	88.1	79.7	+8.4
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	83.0	80.1	+2.9
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	81.3	78.2	+3.1

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	86.5	72.7	+13.8
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	79.7	73.5	+6.2
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	79.6	73.8	+5.8
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	93.2	80.0	+13.2

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など） (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	32.2	43.9	-11.7
学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	18.7	22.5	-3.8

特徴的な傾向

- ①「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」で「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合が、全国平均より7.9ポイント高い。今後も、授業の中でICT機器を有効に活用できるように啓発する必要がある。
- ②「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より13.8ポイント高い。総合的な学習の時間で、「課題探求型授業」が進んでいることを示している。他の教科でも「課題探求型授業」へ授業改革を進めていく必要がある。
- ③「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より13.2ポイント高い。今後も、「考える道徳」を一層進めていく必要がある。

【その他について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	79.7	72.5	+7.2
自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	67.8	65.1	+2.7
将来の夢や目標を持っていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	83.0	79.8	+3.2

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	62.7	79.3	-16.6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	79.7	87.1	-7.4
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	66.1	68.1	-2.0
学校に行くのは楽しいと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	77.9	85.4	-7.5
友達と協力するのは楽しいと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	91.5	94.0	-2.5
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く) (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	27.2	30.6	-3.4
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	39.0	51.3	-12.3

特徴的な傾向

- ①「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より 7.2 ポイント高い。今後も、これからの予測困難な時代を生き抜いていく人を育てるために、チャレンジ精神が旺盛で、主体的に活動することが必要である。
- ②「自分には、よいところがあると思いますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均より 16.6 ポイント低い。一人ひとりの子どもの良さを見つけ、伸ばすことで、自己肯定感が高まるので、さらに自信をつけさせるように支援する必要がある。

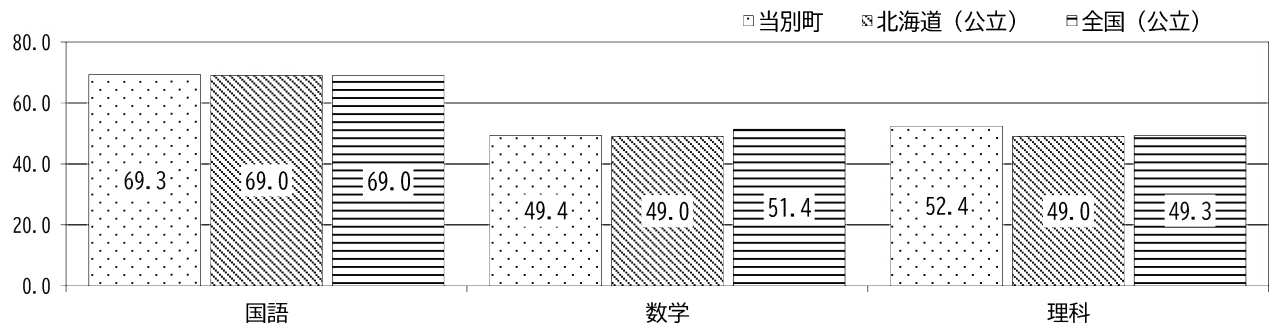
Ⅲ 中学校の分析

1) 学力調査

1 教科ごとの平均正答率と平均正答数

	国語		数学		理科	
	平均正答率 (%)	平均正答数/問題数	平均正答率 (%)	平均正答数/問題数	平均正答率 (%)	平均正答数/問題数
当別町	69.3	(9.7/14)	49.4	(6.9/14)	52.4	(11.0/21)
北海道(公立)	69.0	(9.6/14)	49.0	(6.9/14)	49.0	(10.3/21)
全国(公立)	69.0	(9.7/14)	51.4	(7.2/14)	49.3	(10.4/21)
全国との差	+ 0.3	(0.0/14)	▲ 2.0	(▲0.3/14)	+ 3.1	(0.6/21)

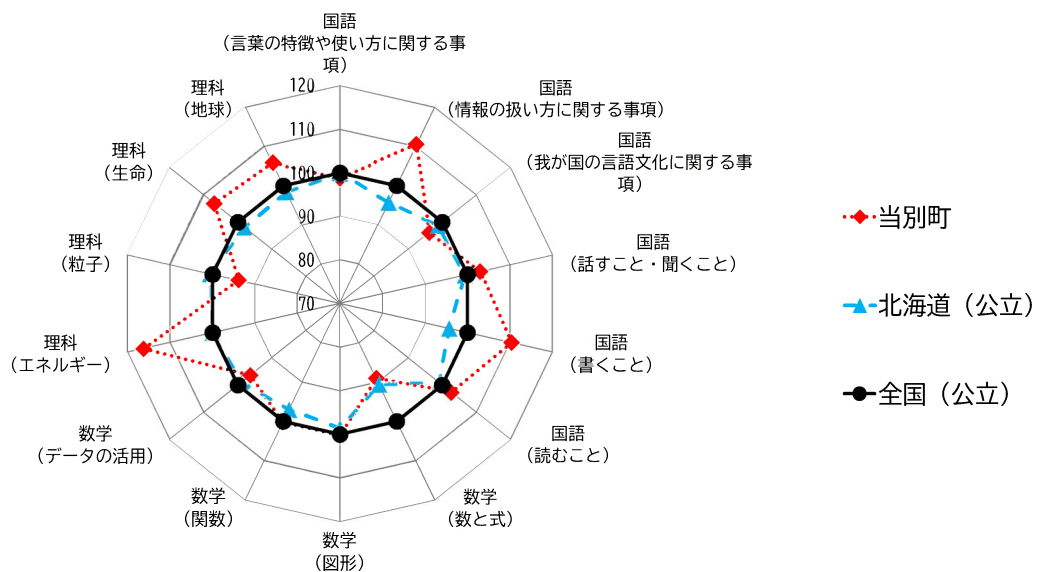
※平均正答率・平均正答数は、5月9日に実施した学校の結果を含めた値を記載。
 ※()内の平均正答数と問題数欄は分子が平均正答数で、分母が問題数として記載。
 ※平均正答率…平均正答数を百分率で表示。国語、数学ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を 設問数で 割った値の百分率(概数)。



2 全国平均を基準(100)とした場合の領域ごとの正答率

	国語 (言葉の特徴や使い 方に関する事項)	国語 (情報の扱い方に 関する事項)	国語 (我が国の言語文化に 関する事項)	国語 (話すこと・聞く こと)	国語 (書くこと)	国語 (読むこと)	数学 (数と式)	数学 (図形)	数学 (関数)	数学 (データの活用)	理科 (エネルギー)	理科 (粒子)	理科 (生命)	理科 (地球)
問題数	6/14	1/14	3/14	3/14	1/14	2/14	5/14	3/14	3/14	3/14	6/21	5/21	5/21	6/21
当別町	98.8	110.3	96.2	103.0	110.3	102.7	89.2	100.2	100.2	96.3	116.2	93.9	106.7	105.6
北海道(公立)	99.9	95.7	98.7	99.4	95.7	99.1	90.6	98.6	97.0	98.9	100.0	100.6	98.1	98.4
全国(公立)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

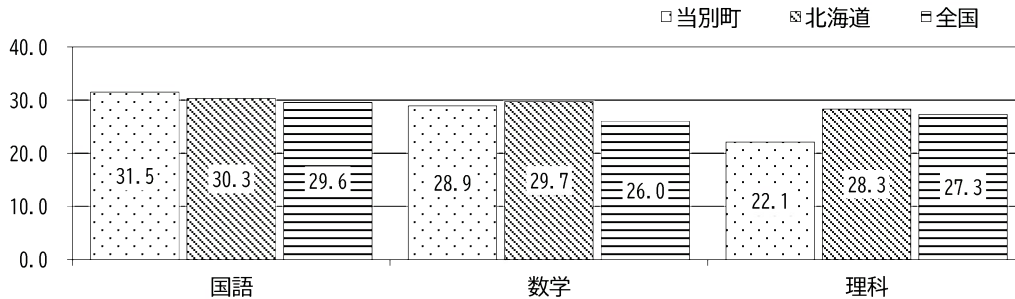
※教科の領域別に全国を100とした場合の状況をレーダーチャートで示したもの。
 ※(当別町生徒の平均正答率(5月9日に実施した学校の結果を含めた値)÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
 ※1つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数と一致しない。



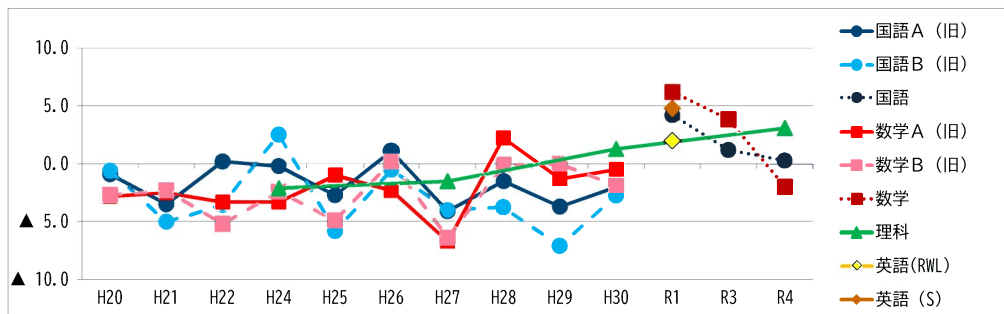
3 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合	国語			数学			理科		
	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国	当別町	北海道	全国
	31.5%	30.3%	29.6%	28.9%	29.7%	26.0%	22.1%	28.3%	27.3%
全国との差	14問中8問以下			14問中4問以下			21問中7問以下		
	+	1.9	多い	+	2.9	多い	▲	5.2	少ない

※5月9日に実施した学校の結果を含めた値を記載。



4 経年変化



※全国の平均正答率との差を表示。

※理科・英語は3年ごとに実施。

※平成23年度・令和2年度は中止。

5 教科ごとの結果概要

【国語】

- ① 全国の平均正答率を0.3ポイント上回った。
- ② 領域ごとの正答率は、6分野中3分野で全国を上回っており、特に「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の分野で全国を大きく上回っている。
- ③ 下位層の割合は、全国より1.9ポイント多く、学力の底上げが課題となっている。

【数学】

- ① 全国の平均正答率を2ポイント下回った。
- ② 領域ごとの正答率は、4分野中2分野で全国を上回っている。一方で、「数と式」の分野で全国を大きく下回っており、課題となっている。
- ③ 下位層の割合は、全国より2.9ポイント多く、学力の底上げが課題となっている。

【理科】

- ① 全国の平均正答率を3.1ポイント上回った。
- ② 領域ごとの正答率は、4分野中3分野で全国を上回っており、特に「エネルギー」の分野で全国を大きく上回っている。
- ③ 下位層の割合は、全国より5.2ポイント少なく、学力の底上げが見られる結果となった。

6 改善策

(1) 町としての学力向上策

- ① 授業改革への支援（加配教員・町費負担教員の有効活用、ICT機器の活用推進、家庭学習の充実～学びのハンドブックの活用～）
- ② 教職員の資質向上への支援（指導主事による指導助言、教職員研修の充実）
- ③ 授業外の学習支援（AIドリルの活用などによる長期休業中の学習支援、読書環境の整備・充実）
- ④ 学校改善プランの実践支援（「課題探求型授業」の積極的な推進、教職員協働による学習指導・生徒指導の充実、「学びのハンドブック」の活用推進、小中一貫教育のメリットを生かした9年間の学びの連続性）

(2) 各教科ごとの改善策

【国語】

- ① 話し合い、自分の考えをまとめる指導を計画的に指導に取り入れる。
- ② 必要な情報を文章から取り出すことができるような指導を日頃から取り入れる。
- ③ 授業の終末に「振り返り」を設けて、記述させる。

【数学】

- ① 「課題探求型の授業」に授業改革することが必要である。
- ② 日常生活や社会事象など、目的に応じて情報を収集し、その情報に基づき課題解決を図れるような指導を充実させる。
- ③ 授業にICTを積極的に取り入れることで主体的・協働的な学びの効果を高め、思考力、判断力をより一層培う指導を充実させる。

【理科】

- ① 「課題探求型の授業」をより積極的に取り入れることが必要である。
- ② 知識の活用を日常生活で活かす指導を充実させる。
- ③ 授業にICTを積極的に取り入れることで主体的・協働的な学びの効果を高め、思考力、判断力をより一層培う指導を充実させる。

【授業全般】

- ① 全教職員に「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解させ、日々の授業等について、教育課程全体の中での位置づけを意識させる。
- ② 小学校と中学校で研究テーマを統一し、9年間で育てる児童・生徒の資質・能力の共有化が進んできた。全国学力・学習状況調査の結果分析から課題を明確にして、それを学校改善プランに反映し、実践する。
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、自ら学び、自ら考える「課題探求型の授業」を積極的に進める。

2) 学習状況調査（生活習慣・学習環境等）

※全国平均と比較して2ポイント以上の差がある項目を抜粋しています。

※5月9日に実施した学校の結果を含んでいます。

【国語の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
国語の勉強は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	64.1	61.9	+2.2
国語の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	96.1	93.2	+2.9

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
国語の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	78.3	81.2	-2.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	85.9	89.7	-3.8

特徴的な傾向

- ①「国語の授業の内容はよく分かりますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より2.9ポイント低い。授業改善を積極的に進めていく必要がある。
- ②「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より3.8ポイント低い。言語活動の中核となる教科であることから、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めることが必要である。

【数学の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
数学の勉強は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	65.4	58.1	+7.3
数学の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	80.8	76.2	+4.6
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	52.6	47.3	+5.3
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	76.9	70.2	+6.7
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	83.3	79.6	+3.7

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	70.6	75.2	-4.6

特徴的な傾向

- ①「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より4.6ポイント低い。粘り強く物事に取り組むような日常的な生徒指導が必要である。
- ②「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、それぞれ全国平均より高い。授業改善が進んでいることが伺えるが、更なる高みを目指して改善スピードを上げる必要がある。
- ③「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より5.3ポイント高い。数学の学びを日常生活に生かそうとする「学びに向かう力」が育っており、更なる高みを目指して、数学の学びを深めることを意識した授業改善を進める必要がある。

【理科の学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
理科の勉強は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	78.2	66.4	+11.8
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	55.1	52.7	+2.4
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	27.0	22.1	+4.9
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	78.2	64.5	+13.7
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	87.2	78.9	+8.3
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	76.9	68.1	+8.8

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
理科の勉強は大切だと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	74.4	76.8	-2.4
理科の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	70.5	75.2	-4.7

特徴的な傾向

- ①「理科の勉強は好きですか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より 11.8 ポイント高い。その一方で、「理科の勉強は大切だと思いますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より 2.4 ポイント低い。理科の学習は好きであっても、「なぜ理科を学習する必要があるのか」について、理解が十分でないことが伺える。生徒が、理科の学びを深めることを意識した授業改善が必要である。
- ②「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より 13.7 ポイント高い。小学校で習得した学び方が、中学校でも継続した学び方に結びついていると考えられる。

【家庭学習について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く） (「101冊以上」と回答した割合の合計)	60.1	33.5	+26.6
読書は好きですか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	71.8	68.2	+3.6

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） (「2時間以上」と回答した割合の合計)	30.6	35.2	-4.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） (「3時間以上」と回答した割合の合計)	11.6	20.6	-9.0

特徴的な傾向

- ① 「あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）」で「101冊以上」と回答した生徒の割合が、全国平均より 26.6 ポイント高い。また、「読書は好きですか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より 3.6 ポイント高い。家庭での読書環境は、良好であるため、読書習慣のより一層の定着に向けて、家読の大切さを保護者に啓発することが必要である。
- ② 「平日の家庭学習の時間」で「2時間以上」と回答した生徒の割合が、全国平均より 4.6 ポイント低い。また、「学校が休みの時の家庭学習の時間」で「3時間以上」と回答した生徒の割合が、全国平均より 9 ポイント低い。家庭学習の習慣化はみられるものの、その内容や時間に関しては、見直しが必要である。

【基本的な生活習慣について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
朝食を毎日食べていますか (「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計)	96.2	91.9	+4.3
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか (「1時間以上」と回答した割合の合計)	73.0	75.8	-2.8

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか (「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合の合計)	74.4	79.9	-5.5
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか (「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した割合の合計)	51.3	69.5	-18.2
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか (「1時間以上」と回答した割合の合計)	74.3	71.3	+3.0

特徴的な傾向

- ①「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」で「している」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合が、全国平均より5.5ポイント低い。規則正しい生活習慣を維持していくため、学校と家庭が連携して、基本的な生活習慣づくりを進めていく必要がある。
- ②「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」で「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した生徒の割合が、全国平均より18.2ポイント低い。成長に応じて携帯電話・スマートフォンを使用する機会が増える一方で、使用上のルールを守ることについて課題が見られることから、家庭でルールを子どもとしっかり決めて使用させることが大切である。また、保護者と子どもが考えながらルールづくりができるように啓発を進める必要がある。

【指導に関わる項目について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか (「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」と回答した割合の合計)	96.2	92.6	+3.6
1、2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	69.2	67.2	+2.0
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	78.3	72.1	+6.2
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	80.8	76.8	+4.0
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	92.3	85.5	+6.8

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	48.7	50.9	-2.2
学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など) (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	30.8	37.2	-6.4
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか (「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合の合計)	12.8	15.0	-2.2
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	70.5	74.7	-4.2

特徴的な傾向

- ①「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」で「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国平均より3.6ポイント高い。石狩管内で一番早く一人一台端末導入を完了し、使用を進めたことが、ICT機器を学習で使用するものの有効性を生徒に意識づけてきたと考えられる。その一方で、「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」で「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒の割合が、全国平均より2.2ポイント低い。また、「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）」で「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒の割合が、全国平均より6.4ポイント低い。ICT機器を有効に使う「課題探求型授業」への授業改革を積極的に進めていく必要がある。
- ②「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より4.2ポイント低い。振り返りが十分にでないことが伺えるので、タブレットの活用を含めた振り返りに取り組ませたい。

【その他について】

全国と比べ優位な項目	当別町	全国	差
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	89.7	86.6	+3.1
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	70.5	67.1	+3.4
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	84.7	76.9	+7.8
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く) (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	29.4	21.1	+8.3
今住んでいる地域の行事に参加していますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	44.8	40.0	+4.8

全国と比べ改善が必要な項目	当別町	全国	差
将来の夢や目標を持っていますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	73.0	77.3	-4.3
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	55.2	66.6	-11.4
学校に行くのは楽しいと思いますか (「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計)	76.9	82.9	-6.0

特徴的な傾向

- ①「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」と回答した生徒の割合が、全国平均より高い。今後も、予測困難な時代をたくましく生き抜いていくために、主体的な課題解決能力や柔軟な思考力の育成が必要である。
- ②「将来の夢や目標を持っていますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より 4.3 ポイント低い。どうべつ未来学の教科横断的な学習の充実を図り、将来の夢や目標をしっかりと持たせる指導を進めていきたい。
- ③「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国平均より 11.4 ポイント低い。働き方改革を進め、生徒と向き合う時間を作り、相談体制も含めて、きめ細かい生徒指導ができるようにしていきたい。

当別町学力向上プラン (R4.9月~R5.8月)

【基本理念】社会を背負う、世界にも通用する『確かな学力・豊かな心・健やかな体』を備えた人の育成

【指 標】令和5年度全国学力・学習状況調査で、正答率が全国平均を10ポイント上回ることを目指し、管内上位の学力を維持する。

- 【方 針】
1. 授業改善（課題探求型授業）の積極的な推進
 2. 学級経営・学習規律等の生徒指導の強化
 3. 全教職員の協働による学力の推進

【具体的な方策】

《学 校》

データ分析に基づく学校改善プランの作成と実行

【改善プラン作成の視点】

- ・授業改善（課題探求型授業）
- ・教職員の協働による学習指導、生徒指導
- ・「学びのハンドブック」の活用
- ・9年間の学びの連続性

《教育委員会》

授業改善への支援

- ・加配教諭、時間講師、学習支援員等の配置
- ・学力向上推進講師の配置
- ・ICT機器の活用推進（MEXCBT、学習eポータル他）
- ・地域の教育力の活用

教職員の資質向上への支援

- ・指導主事による指導助言
- ・教職員研修の充実

授業外の学習支援

- ・放課後及び土曜学習会の充実
- ・長期休業中の学習支援
- ・読書環境の整備・充実

学力向上

【今後のスケジュール】

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
← 改善プランの実践・見直し →							調査 実施			評価と 分析	改善プラン 策定

